



# くまもと有機エレクトロニクス連携エリア

## 有機エレクトロニクス産業の基盤技術を核とする広域的な地域イノベーション創出

### 総合調整機関

財団法人 くまもとテクノ産業財団  
〒862-0901  
熊本県熊本市東区東町3丁目11-38  
TEL096-368-7444

### 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…(一社)熊本県工業連合会、(株)イー・エル・テクノ、(株)オジックテクノロジーズ、(株)熊防メタル 他
- 学…熊本大学、**崇城大学**、九州大学
- 官…熊本県、(財)くまもとテクノ産業財団、(財)九州先端科学技術研究所
- 金…日本政策金融公庫、(株)肥後銀行、(株)熊本ファミリー銀行



プロジェクトディレクター  
**柏木 正弘**

略歴：(株)東芝首席技監、アプライドマテリアルジャパン(株)技師長、熊本県産業技術センター所長等を歴任し、現在、熊本県産業技術顧問(有機薄膜担当)。

大手半導体メーカー、大手半導体製造装置メーカーでのキャリアと熊本県産業技術センター所長としての地域企業とのネットワークを活かし、地域の半導体関連企業の有機エレクトロニクス産業への参入や、有機系太陽電池メーカーなどの誘致を促進し、有機エレクトロニクス産業を半導体、自動車産業に次ぐ地域の次世代リーディング産業として育成する。

### 地域イノベーション戦略

有機エレクトロニクス産業を、グリーンイノベーションの中核的な産業と位置付け、地域に集積している半導体関連企業群からの参入と関連企業の誘致を促進し、半導体産業、自動車産業に次ぐ地域の次世代リーディング産業として育成するために、持続的・発展的なイノベーションをグローバルな競争場の中で創出する。さらに、「地域イノベーション戦略支援プログラム」を、くまもと有機エレクトロニクス連携エリアを実効的なオープンイノベーションの場として機能させるためのソフト・ヒューマン面からの支援施策として、最重点事業に位置づける。

### 事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：熊本大学、崇城大学、九州大学）  
招へい研究員6名が3大学に集積し、有機エレクトロニクス分野の封止・光学・薄膜・電極材料等の材料・プロセス技術の研究開発を加速させるとともに、先々、地域における事業化推進のキーマンとする。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：くまもとテクノ産業財団）  
人材コーディネータを配置し、地域企業に必要な人材要件を具体化し、経営戦略との整合性を重視した組織的・体系的・継続的な人材育成事業を実施し、地域における自律的な人材育成システムを構築する。
3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：くまもとテクノ産業財団）  
地域連携コーディネータ2名を配置し、地域内外のコミュニケーションを促進し（産産連携）、“知”の移転加速と知財の蓄積を支援する（産学連携）。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：熊本大学、崇城大学）  
オープンイノベーション拠点としての機能を強化すべく、大学等に設置されている最新施設・高度な研究設備の地域企業等への共用化の体制強化と技術支援スタッフの整備を図り、地域企業の多様なニーズに応える。

